

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	治療論Ⅳ(検査・放射線・リハビリ・ME)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	十川千春・小林尚子・石橋康信	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 医学の発展に伴い医療分野では、多くの検査が実施され診断するための重要な役割を果たしている。検査内容と疾患とのつながりを臓器別に理解し、臨床検査の基礎知識を習得することを目的とする。また、放射線療法・リハビリテーション療法について学び、患者の精神的緊張や不安の緩和につながる看護へと発展させ、また医療現場のあらゆる場面で取り扱われている医療機器のメカニズムを理解し、使用するための看護上の原理原則について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 別巻6 臨床検査 医学書院 系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 別巻3 リハビリテーション看護 医学書院						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 放射線医学の領域と看護とのかかわりについて述べる事ができる	系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む おく	
		各コマにおける授業予定	放射線とは、放射線医学の歴史 電離放射線と単位について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. レントゲン写真、CT、MRI、超音波検査の目的と診断のあり方について説明できる	系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む おく	
		各コマにおける授業予定	画像診断と看護(Ⅰ) X線診断・CT・MRI・超音波検査			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 核医学、IVRの目的と診断のあり方について説明ができる	系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む おく	
		各コマにおける授業予定	画像診断と看護(Ⅱ) 核医学・IVR			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 放射線治療の原理、目的、方法について説明できる	系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む おく	
		各コマにおける授業予定	放射治療総論 放射線治療の原理・特徴と目的・治療線量・照射法			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 放射線による被害にどのようなものがあるか生命できる	系統看護学講座 別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む おく	
		各コマにおける授業予定	放射線防護 放射線による障害と防護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.臨床工学技師の業務内容と対象とするものについて説明できる	系統看護学講座別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	臨床工学技師の仕事と視点 医療機器とはその定義 身近な電気の話、電気安全の基礎知識		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.呼吸管理に使うME機器の原理と使いかたについて説明できる	系統看護学講座別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	呼吸管理について 酸素ボンベ、壁配管、パルスオキシメーター、酸塩素平衡 血液ガス、呼吸(スパイロメトリー)、人工呼吸器(NPPV)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.循環器系に障害を持つ人のME機器の原理と使い方について説明できる	系統看護学講座別巻7 臨床放射線医学 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	ペースメーカー、パルスオキシメーター 自動輸ポンプ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1臨床検査の役割と看護の	系統看護学講座別巻6 臨床検査 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	I. 臨床検査とその役割 1. 診療における臨床検査の役割 2.臨床検査の種類 3.臨床検査の評価 4.臨床検査の戦略と技術の向上		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 臨床検査の役割と看護との関連について必要性なことをのべることhがでる	系統看護学講座別巻6 臨床検査 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	II. 臨床検査の流れと看護師の役割 1. 臨床検査の流れ 2.臨床検査の準備 3.患者に対する説明と注意 4.倦怠の採取方法と保存・移送法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 検査時における看護師の役割がわかる	系統看護学講座別巻6 臨床検査 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	II. 臨床検査の流れと看護師の役割 5.検査による危険とその防止 6.簡易迅速検査機器とその取り扱い 7.生体検査とその介助 8.検査結果の説明		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 系統別の検査の種類と目的が言える。	系統看護学講座別巻6 臨床検査 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	III. 系統別臨床検査の進め方 1. 感染症検査 2.各系統別検査①循環器系②呼吸器系③消化器系④血液・造血系⑤腎・泌尿器系・神経系・内分泌		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 系統別の検査の種類と目的が言える。	系統看護学講座別巻6 臨床検査 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	III. 系統別臨床検査の進め方 3.人間ドックと臨床検査 4.移植の臨床検査 5.癌の臨床検査 6.遺伝子検査値の臨床検査		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.治療としてのリハビリテーションの意義、目的を述べる事ができる	系統看護学講座別巻3 リハビリテーション看護 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念 1.リハビリテーションの定義と理念 2.障害者の定義と障害者の状況 3.障害者の分類と構造 4.リハビリテーションの分野 5.リハビリテーションの医療システム 6.他職種協働システム 7.高齢者リハビリテ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 系統別リハビリテーションの意義・目的を述べる事ができる	系統看護学講座別巻3 リハビリテーション看護 医学書院	テキストの該当単元を読む
		各コマにおける授業予定	系統別機能障害とリハビリテーション ① 運動機能障害 ②中枢神経障害 ③呼吸機能障害 ④循環器障害 ⑤感覚器機能障害 ⑥高齢者のリハビリテーション		